

# 環境 NEWS (第20回)



全日本サーフキャストイング連盟本部 環境部

あらためて、海洋汚染について考えてみましょう。

世界の海洋汚染の約80%は、陸の活動で発生した汚染(農業活動による流出物、栄養素や農薬の排出、プラスチックを含む未処理の下水など)によるものだそうです。

薬品やマイクロプラスチックなどの化学物質による汚染は容易に想像できますが、下水や農業排水に含まれる過剰な栄養素が海に流出することも大きな要因だそうです。これらの要因により、ほとんどの海洋生物が生存できなくなる「デッドゾーン」と呼ばれる低酸素(貧酸素)地域の数が増えているようです。

海はつながっています。そして海流により汚染域は移動していきます。

将来的には、よその国の話ではすまされないってことですね。

高所得国では、平均して、生活排水や産業排水の約70%を浄水処理してから排出しています。しかしその比率は、中所得国の中でも上位の国では38%、中所得国の中でも下位の国では28%にまで低下します。そして、低所得国では、わずか8%しか浄水処理がされていません。世界全体で見ると、家庭からの排水や産業排水の約80%が未処理のまま、川や海に垂れ流しになっていることとなります。高所得国では、環境を守るため、そして水不足の時には浄水した水を再利用できるようにするために、高度な浄水処理を整えています。しかし、そうしたインフラを整える資金や技術がなかったり、排水を規制する法律や制度がなかったりする開発途上国では、生活排水や産業排水を未処理のまま川や海に垂れ流すことは、一般的な慣行であり続けています。

世界220の沿岸地域の水質を点数で表すと？  
(0点=汚染がひどい⇔100点=水がきれい！)

